

【理科】分析



○正答率の高い力

A 教科の内容（基礎的基本的な能力）

問われている力	設問	正答率
・方位磁針の適切な使い方を理解しているか。	3-(1)	95.6%
・人の体には、骨、筋肉、関節があることを理解しているか。	6-(1)	93.3%
・折れ線グラフに表した気温やその変化の仕方を、正しく読み取ることができるか。	7-(1)	91.1%

B 読み解く力に関する内容（思考力・判断力・表現力）

問われている力	設問	正答率
・節足動物の体のつくりを理解し、正しく分類することができるか。	9-(3)	93.3%

○正答率の低い力 →

各学年の授業改善に生かす。

A 教科の内容（基礎的基本的な能力）

問われている力	設問	正答率	課題	改善点（具体的な学習活動・内容・方法）
・物の重さを同じにしたときの体積を比較して、種類を考慮することができるか。	1-(3)	35.6%	<ul style="list-style-type: none"> 物の重さを同じにした時の体積の違いを捉えられていない。 磁石につく物が鉄であるということを捉えられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな材質の物を実際に触ったり持ったりしながら、量感を身に付けさせる。 金属の定義をしっかりと定着させ、磁石につく物＝金属ではないということを認識させる。磁石を日常的に使わせて、付く物と付かない物を身の回りの物で確かめられるようにする。
・磁石につく物は鉄であることを理解しているか。	4-(1)	20.0%		

B 読み解く力に関する内容（思考力・判断力・表現力）

問われている力	設問	正答率	課題	改善点（具体的な学習活動・内容・方法）
・水を温めたときの白身の固まる温度を、資料から読み取ることができるか。	8-(1)	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> 折れ線グラフから必要な内容を正しく読み取ることができていない。 2つの折れ線グラフから適切な条件を考えて読み取ることができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 折れ線グラフの時間軸と物質の状態変化を関連付けて考えられるように、4年次の単元から意識して指導する。 異なる2事象や2つのグラフを比較したり、条件制御の場面を意識的に与えたりすることで、日常的な事象に関してもその力を活かせるようにする。
・水の温まり方と白身と黄身の固まり方の関係を理解し、適切な条件を考慮することができるか。	8-(3)	40.0%		

**本年度の重点…基礎的・基本的な能力の強化
思考力・判断力・表現力の向上**

【具体的な実践】

●低学年…

●中学年…

●高学年…

	基礎的・基本的な能力の強化	思考力・判断力・表現力の向上
	科学的な知識の定義付けを、日常的な体験の中で定着させる。量感を実体験を通して、重さや体積の感覚を身に付けさせる。ベーシックドリルを活用し、知識の定着を図る。	事象と身の回りの生活とを結びつけ、見通しをもって、根拠のある仮説を立てたり、適切な実験方法を考えたりできるようにさせる。学習したことを身の回りの生活に結びつけるような活動を取り入れる。
	科学的な用語を、繰り返し使うことで知識の定着を図る。実験器具を日常的に触れられるようにし、技能の向上を図る。ベーシックドリルを活用し、知識の定着を図る。	実験結果から結論を導く際に、問題解決の過程をふり返ったり他のグループの結果と比較したりしながら考察させる。学習したことを身の回りの生活に結びつけるような活動を取り入れる。